

出店に行列を作る子どもたち



浴衣姿の園児ら、夏を楽しむ

◎町内保育所夕涼み会

7月7日と14日に、町内の各保育所で夕涼み会やお楽しみ会が開かれました。

当日は、輪投げなどのゲームやバザーのほか、綿菓子やかき氷なども販売。出店の前には、浴衣に身を包んだ子どもたちが長蛇の列を作っていました。また、好藤保育所には「きほくん」と「きじの助」も登場し、子どもたちの記念撮影も行われました。

園児たちによる歌の発表なども行われ、子どもも大人もちょっとしたお祭り気分を満喫していました。

介護予防のストレッチも体験



認知症に対する理解と知識深める

◎鬼北町認知症サポーター養成講座

鬼北町認知症サポーター養成講座は7月14日、近永公民館2階の講堂で開催されました。

この日は施設関係者や一般の方など約100人が参加。保健師の高平真由美さんを講師に、認知症の症状や対応の仕方などを学びました。

途中、包括支援センター職員による劇なども交えて行われ、職員らの熱演に思わず笑いが起きる場面も。ストレッチやDVD観賞、また意見交換なども行われ、参加者たちは積極的に参加しながら認知症に対する知識を深めていきました。

堂々と入場してくる子どもたち



愛媛FCマッチタウンで貴重な体験

◎愛媛FCマッチタウン

7月15日、松山市のニンジニアスタジアムで愛媛FCの試合が行われ、当日は町内の鬼北チグリニヨの選手たちや日吉小学校児童たちがエスコートキッズやフラッグキッズとして、また広見中学校生徒たちがボールボーイやたんか隊として参加しました。

マッチタウンとは、愛媛FCを応援しようと定期的に小中高生が招待されているイベントで、会場には「きほくん」と「きじの助」も登場。参加した子どもたちは少し緊張した表情を浮かべながらも、堂々とした態度で見事与えられた大役を果たしました。

子どもたちもチャリティーに貢献



晴天の下、12時間にも及ぶ熱戦展開

◎好藤チャリティーソフトボール大会

好藤チャリティーソフトボール大会は7月14日、好藤小学校グラウンドで開催されました。

この大会は、Y・Y・Cとチャリティーズの2チームに分かれて行われ、選手たちがヒット、ホームランやエラーなどを出すたびに、それぞれに応じた金額を寄付するというもの。

この日は地元の子どもたちや有志など約130人が参加。60回まで行われた試合で、結果は24点差でチャリティーズが勝利。合計9万5,300円の寄付が集まりました。